

7 観光消費による経済波及効果の推計

7 観光消費による経済波及効果の推計

7-1 観光消費による経済波及効果の推計手順

本調査により観光地で実施したアンケート調査結果、及び「滋賀県産業関連表」などの統計データ等に基づき、滋賀県における観光消費による経済波及効果を推計する。

経済波及効果を推計するために、「滋賀県観光入込客統計調査結果（平成 21 年）」の観光入込客数について、観光動態調査結果より各種パラメータを算定し、延人数から実人数に置き換える。

観光入込み客数（実人数）に、観光動態調査結果より算出した消費単価を乗じて、平成 21 年の観光客による観光消費額を算出する。

算出された観光消費額をもとに、「平成 17 年滋賀県産業関連表」を用いて観光消費がもたらす県内への経済波及効果を推計する。

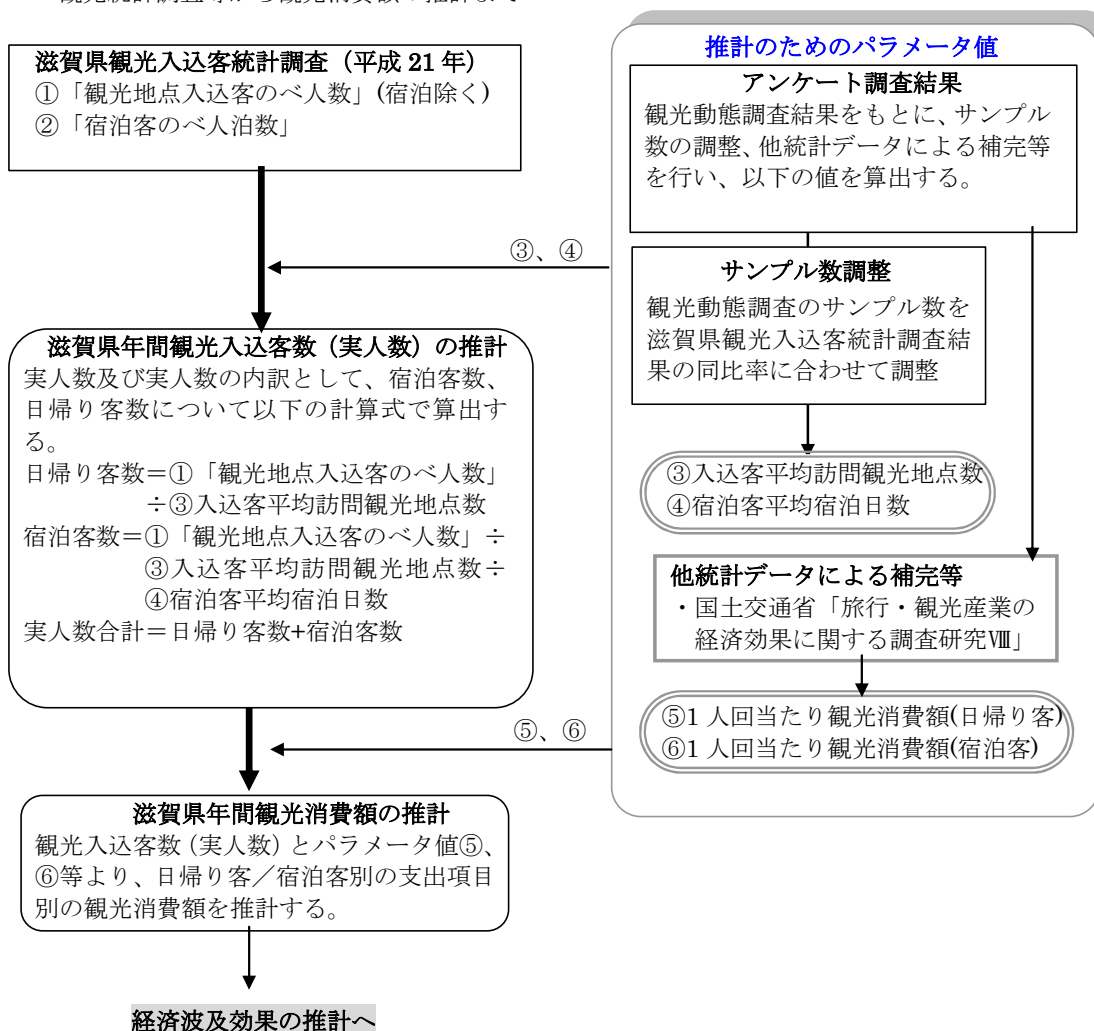
注) 経済波及効果とは、ある産業に新たな需要が生じたとき行われる生産は、需要が生じた産業だけでなく、原材料等の取引を通じて関連する他の産業にも波及する。

また、これらの生産活動の結果生じる雇用者所得は、消費支出として新たな需要を生み出し、さらに生産を誘発していく。このことを経済波及効果（経済効果）という。

経済波及効果の推計手順を下記のとおり概略化して示す。

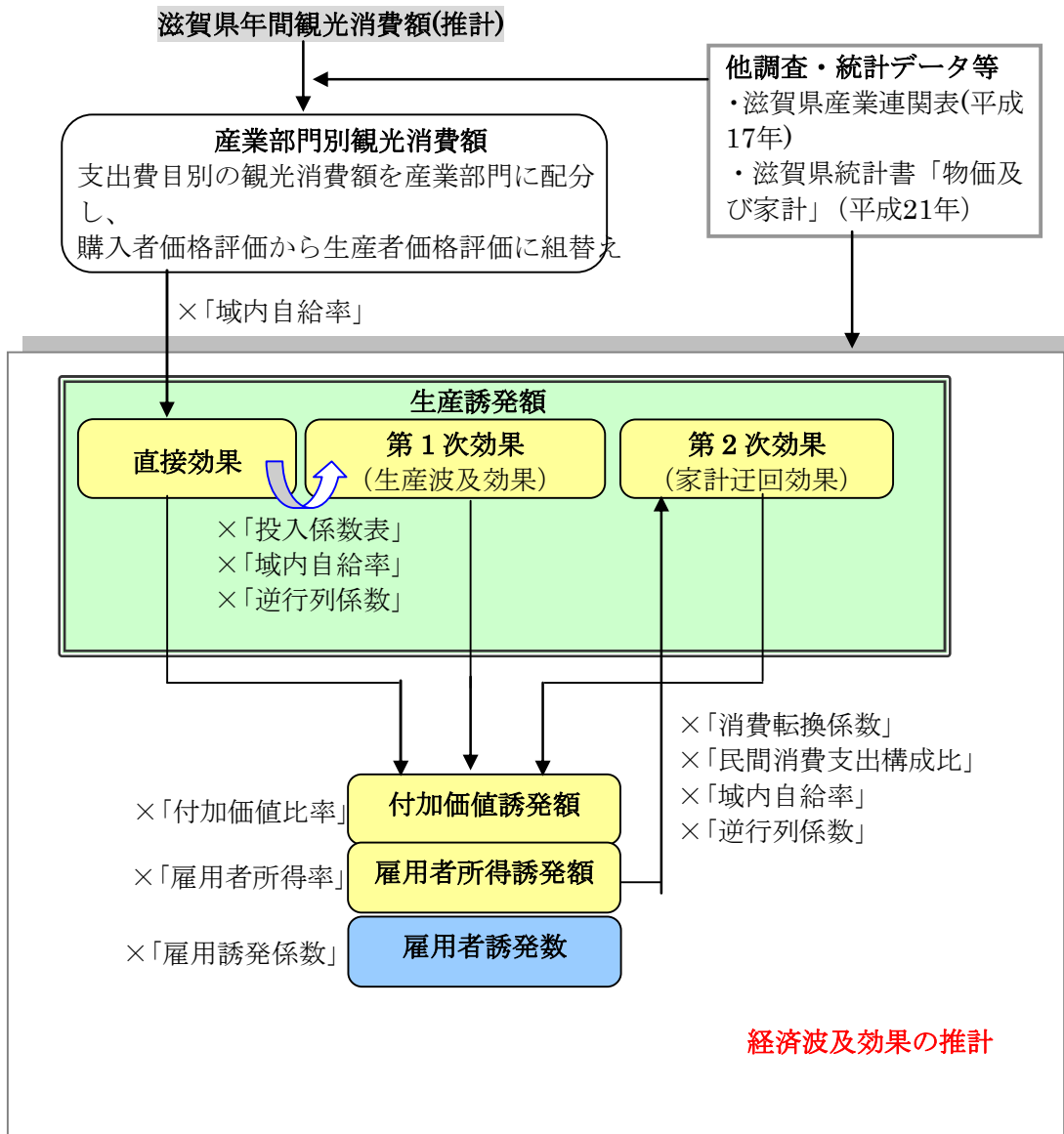
観光消費額及び経済波及効果の推計手順

～観光統計調査等から観光消費額の推計まで～



観光消費額及び経済波及効果の推計手順

～観光消費額から経済波及効果の推計まで～



7-2 観光入込み客数の推計

(1) 観光入込客数（実人数）の推計

観光消費の推計にあたり、まず滋賀県観光入込客統計調査結果（平成21年）を推計の基礎データとし、本調査のうち観光動態調査の結果算出されるパラメータ値に基づき、滋賀県の年間観光入込客数（実人数）を推計する。

■平成21年観光入込客数（延人数）

単位：人、%

	計	日帰り	宿泊
国内客	44,320,462	41,522,067	2,798,395
外国人旅行者	133,938	67,833	66,105
外国人旅行者の比率	0.3%	0.2%	2.3%
	44,454,400	41,589,900	2,864,500

出典：滋賀県観光入込客統計調査結果（平成21年）

●平均訪問地点数

単位：人、地点数

	サンプル数	訪問観光地点数	一人当たり平均訪問地点数
観光動態調査	10,385	18,075	1.74

● 宿泊客平均宿泊日数

単位：人、宿泊日数

	サンプル数	県内宿泊日数	一人当たり平均宿泊日数
観光動態調査	1,751	1,865	1.07

● 日帰り・宿泊区分

単位：人、%

		県内客		県外客（国内）		外国人		合計	
		サンプル数	構成比	サンプル数	構成比	サンプル数	構成比	サンプル数	構成比
観光動態調査	日帰り	12,147	95.4%	21,479	67.4%	1	0.5%	33,627	75.0%
	宿泊	589	4.6%	10,406	32.6%	202	99.5%	11,197	25.0%
	計	12,736	100.0%	31,885	100.0%	203	100.0%	44,824	100.0%

● 訪問目的区分

単位：人、%

		県内客		県外客（国内）		外国人		合計	
		サンプル数	構成比	サンプル数	構成比	サンプル数	構成比	サンプル数	構成比
観光動態調査	観光	9,924	99.2%	28,904	99.5%	183	100.0%	39,011	99.4%
	ビジネス	85	0.8%	140	0.5%	0	0.0%	225	0.6%
	計	10,009	100.0%	29,044	100.0%	183	100.0%	39,236	100.0%

■平成21年観光入込客数（実人数）

単位：人

	計	日帰り	宿泊
国内客	25,366,316	23,863,257	1,503,059
外国人旅行者	74,490	38,984	35,506
計	25,440,806	23,902,241	1,538,565

注) 日帰り客数＝「観光地点入込客のべ人数」÷入込客平均訪問観光地点数

宿泊客数＝「観光地点入込客のべ人数」÷入込客平均訪問観光地点数÷宿泊客平均宿泊日数

●訪問目的区分

	県内客		県外客（国内）		外国人	
	日帰り	宿泊	日帰り	宿泊	日帰り	宿泊
観光	8,547,116	79,835	15,169,459	1,415,683	38,984	35,506
ビジネス	73,207	684	73,475	6,857	0	0
計	8,620,323	80,519	15,242,934	1,422,540	38,984	35,506

(2) 観光消費額の推計

(1) で算出した観光入込客数（実人数）に観光動態調査より算出した下記の消費単価を乗じて、観光消費額を算出する。結果、平成21年の観光消費額は125,118百万円と推計された。

●一人当たり消費単価

単位：円

	県内客				県外客（国内）			
	日帰り		宿泊		日帰り		宿泊	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
交通費：								
県内	588	23.9%	1,087	13.9%	1,139	23.6%	2,539	13.0%
宿泊費用	0	0.0%	3,655	46.7%	0	0.0%	9,185	47.0%
土産代	502	20.4%	433	5.5%	1,217	25.2%	3,014	15.4%
飲食費	797	32.4%	1,927	24.6%	1,547	32.0%	3,403	17.4%
入場料	298	12.1%	288	3.7%	528	10.9%	666	3.4%
その他費用	276	11.2%	442	5.6%	405	8.4%	737	3.8%
合計	2,461	100.0%	7,832	100.0%	4,835	100.0%	19,544	100.0%
	外国人							
	日帰り		宿泊					
	金額	構成比	金額	構成比				
交通費：								
県内	1,139	23.6%	7,596	17.0%				
宿泊費用	0	0.0%	4,633	10.4%				
土産代	1,217	25.2%	13,743	30.8%				
飲食費	1,547	32.0%	12,583	28.2%				
入場料	528	10.9%	463	1.0%				
その他費用	405	8.4%	5,559	12.5%				
合計	4,835	100.0%	44,577	100.0%				

注) パック料金は、上記各費目に按分した。

外国人（日帰り）は、県外客（国内）の日帰りの単価を用いている。

● 観光消費額（平成 21 年）

単位：百万円

	県内客		県外客（国内）		外国人		合計		
	日帰り	宿泊	日帰り	宿泊	日帰り	宿泊	日帰り	宿泊	計
観光	21,034	625	73,344	27,668	188	1,583	94,567	29,876	124,443
ビジネス	180	5	355	134	0	0	535	139	675
計	21,215	631	73,700	27,802	188	1,583	95,103	30,015	125,118

単位：百万円

	県内客		県外客（国内）		外国人		合計		
	日帰り	宿泊	日帰り	宿泊	日帰り	宿泊	日帰り	宿泊	計
交通費：県内	5,066	88	17,358	3,612	44	270	22,468	3,969	26,437
宿泊費用	0	294	0	13,066	0	164	0	13,525	13,525
土産代	4,325	35	18,551	4,288	47	488	22,923	4,811	27,734
飲食費	6,871	155	23,575	4,841	60	447	30,506	5,443	35,949
入場料	2,572	23	8,049	947	21	16	10,642	987	11,629
その他費用	2,380	36	6,167	1,048	16	197	8,563	1,281	9,844
合計	21,215	631	73,700	27,802	188	1,583	95,103	30,015	125,118

7-3 経済波及効果の推計

①紐つけ

支出項目別の観光消費額を、「項目内構成比」（「旅行・観光産業の経済効果に関する調査研究Ⅷ 2007年度旅行・観光消費動向調査結果と経済効果の推計」（2008年3月 国土交通省総合政策局観光経済課）の全国集計を加工したもの）を利用して、平成17年滋賀県産業連関表（34部門表）の産業部門に分類する。

費目	産業分類（34部門表）	構成比	
		宿泊客	日帰り客
交通費	石油・石炭製品	18.4%	22.7%
	運輸	77.0%	75.1%
	対事業所サービス	4.6%	2.2%
	計	100.0%	100.0%
宿泊費	対個人サービス	100.0%	100.0%
	計	100.0%	100.0%
土産物	農林水産業	14.4%	14.1%
	飲食料品	64.7%	55.4%
	繊維製品	6.9%	10.6%
	パルプ・紙・木製品	1.1%	2.3%
	化学製品	1.4%	0.6%
	窯業・土石	2.5%	2.2%
	電気機械	1.7%	0.8%
	精密機械	0.6%	0.2%
	その他の製造工業品	5.5%	12.0%
	情報通信	1.2%	1.8%
	計	100.0%	100.0%
飲食費	対個人サービス	100.0%	100.0%
	計	100.0%	100.0%
入場料・その他経費	農林水産業	1.5%	2.5%
	運輸	5.3%	2.7%
	教育・研究	14.8%	8.9%
	医療・保険・社会保障・介護	10.6%	8.1%
	その他の対公共サービス	3.9%	1.8%
	対事業所サービス	1.0%	0.7%
	対個人サービス	62.9%	75.3%
	計	100.0%	100.0%

②購入者価格から生産者価格への転換

平成 17 年産業連関表（全国表）を用いて、「商業マージン表」「国内貨物運賃表」を用いて産業部門別観光売上高を生産者価格ベースに組み替える。商業マージンは、商業部門に、国内貨物運賃は運輸部門に配分される。

	金額（百万円）
石油・石炭製品	4,171
運輸	22,001
対事業所サービス	831
対個人サービス	65,359
農林水産業	3,131
飲食料品	9,809
繊維製品	1,173
パルプ・紙・木製品	396
化学製品	155
窯業・土石	462
電気機械	188
精密機械	61
その他の製造工業品	2,165
情報通信	439
教育・研究	2,045
医療・保険・社会保障・介護	1,796
その他の対公共サービス	434
商業	10,503
合計	125,118

③経済効果の推計

生産者価格ベースの観光消費額について、産業別の自給率を乗じ、直接効果の金額（県内需要の発生額）を算定した結果、107,514 百万円となった。

注）前回調査結果に倣い、観光消費という性質上、土産品費を除く以下の項目（「運輸」、「医療・保健・社会保障・介護」、「その他の公共サービス」、「対事業所サービス」、「対個人サービス」）は、県内で消費（県内品を消費）するとし自給率 100%とした。ただし、ガソリン代（「石油・石炭製品」）は 0%とした。

直接効果をもとに、一次波及効果、二次波及効果を算定した。

以上の結果、経済波及効果（直接効果、一次波及効果及び二次波及効果の和）は、133,164 百万円と推計された（生産額ベース）。また、粗付加価値ベースでは 75,136 百万円と推計された。

注）平均消費性向は、滋賀県統計書「物価及び家計」より、平成 21 年の平均 0.924（大津市）を用いる。

また雇用誘発効果は、17,025 人と推計された。

単位:百万円、人

	直接効果 +1次波及効果	2次波及 効果	経済効果	粗付加 価値	雇用誘発
農林水産業	2,654	1	2,655	1,513	1,153
鉱業	25	0	25	10	1
飲食料品	6,668	10	6,678	3,817	203
繊維製品	800	0	800	246	48
パルプ・紙・木製品	646	0	647	231	24
化学製品	151	0	151	67	2
石油・石炭製品	114	0	114	48	4
窯業・土石製品	510	0	510	318	15
鉄鋼	9	0	9	3	0
非鉄金属	10	0	10	2	0
金属製品	50	0	50	20	2
一般機械	25	0	25	9	1
電気機械	150	0	150	56	4
情報・通信機器	0	0	0	0	0
電子部品	3	0	3	1	0
輸送機械	150	0	150	52	2
精密機械	43	0	43	23	1
その他の製造工業製品	1,866	1	1,867	825	58
建設	1,005	5	1,010	467	64
電力・ガス・熱供給	276	0	276	90	3
水道・廃棄物処理	1,937	6	1,943	1,144	87
商業	7,616	215	7,831	5,252	1,417
金融・保険	3,175	57	3,232	2,063	152
不動産	1,554	9	1,563	1,351	11
運輸	25,166	242	25,408	12,807	1,900
情報通信	1,432	7	1,439	917	54
公務	127	0	128	96	8
教育・研究	2,068	29	2,097	1,488	94
医療・保健・社会保障・介護	1,830	31	1,861	1,134	224
その他の公共サービス	725	7	733	475	50
対事業所サービス	4,362	37	4,399	2,825	838
対個人サービス	65,704	918	66,622	37,859	10,490
事務用品	250	0	250	0	0
分類不明	485	0	485	-73	115
計	131,586	1,577	133,164	75,136	17,025